

## 来週は修学旅行 その1

来週は修学旅行です。奈良と京都を見てまいります。

初日 11月26日

いわき//////////東京//////////新大阪・・・・・・法隆寺・・・・・・橿原

千年の歴史が見え隠れする橿原市。大和朝廷時代には歴史の中心として、江戸時代には自由都市として栄えた橿原には、日本最初の本格的都城 藤原京、江戸時代の面影を残す今井町、神話と伝説が交差する神社仏閣、そして日本最古の歌集・万葉集に詠まれた場所が数多くあります。歴史と出逢えるまち橿原で有名なのは大和三山。橿原市にある香具山(かぐやま)、畝傍山(うねびやま)、耳成山(みみなしやま)の三つの山を総称して、「大和三山」呼びます。

第二日

橿原・・・・東大寺・・・・春日大社・・・・奈良市内 クラス別研修・・・・大津

平城京遷都にともない、茨城の鹿島からタケミカズチノミコトを迎えたのが、春日大社のはじまりといわれています。その後、千葉の香取からフツヌシノミコト、大阪の枚岡からアメノコヤネノミコトとヒメガミを迎え、神護景雲2年(768年・奈良時代中期)に4つの神をまつって、いまのような社殿ができました。保延元年(1135年・平安時代後期)には更に若宮神社ができ、皇室を始め貴族や武士などの春日もうでが流行し、鎌倉時代からは庶民の信仰もさかんになり、人々から石燈籠、釣燈籠が寄進されました。その燈籠に火を灯す万燈籠が節分の日と8月14・15日に行われ、美しく幻想的な雰囲気をつくり出しています。特に奈良時代以降、20年に一度、社殿を造り替える「式年造替」が行なわれており、平成27、28年で60回目を迎えます。

緑茂る樹木と石燈籠にかこまれた朱色の大社は、平安時代とかわらぬみやびな世界にみちています。

第三日

大津駅より班別研修・・・・・・京都清水寺集合 夜間拝観・・・・・・大津

清水寺(きよみずでら)は、京都府京都市東山区清水にある寺院。山号は音羽山。もとは法相宗に属したが、現在は独立して北法相宗大本山を名乗る。西国三十三所第16番札所。清水寺は法相宗(南都六宗の一)系の寺院で、広隆寺、鞍馬寺とともに、平安京遷都以前からの歴史をもつ、京都では数少ない寺院の1つである。また、石山寺(滋賀県大津市)、長谷寺(奈良県桜井市)などと並び、日本でも有数の観音霊場であり、鹿苑寺(金閣寺)、嵐山などと並ぶ京都市内でも有数の観光地として有名であり、季節を問わず多くの参詣者が訪れる。また、修学旅行で多くの学生が訪れる。古都京都の文化財としてユネスコ世界遺産に登録されている。

清水寺の宗旨は、当初は法相宗で、平安時代中期からは真言宗を兼宗していた。明治時代初期に一時真言宗醍醐派に属するが、明治18年(1885年)に法相宗に復す。昭和40年(1965年)に当時の住職大西良慶が北法相宗を立宗して法相宗から独立した。

第四日

大津・・・・三井寺・・・・東寺・・・・京都駅//////////東京//////////いわき